

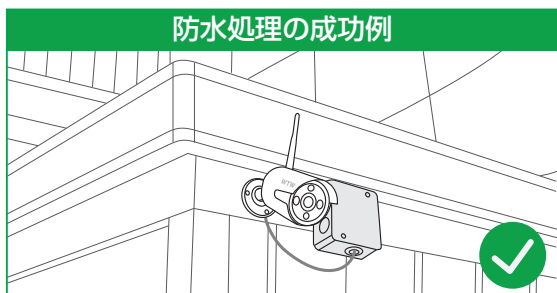
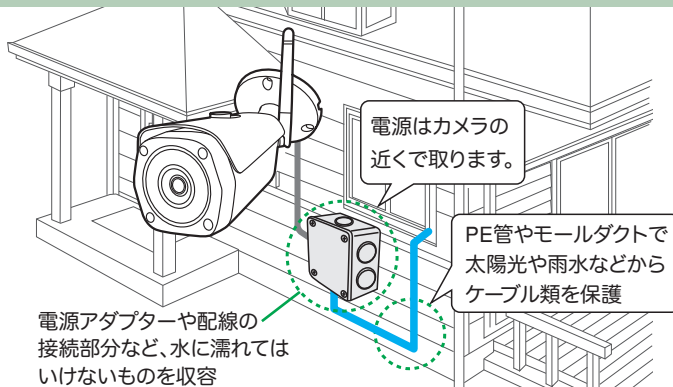


ご注意

電源部分は防水処理が必要です

防水仕様のカメラでも、配線の接続部分や電源アダプターは防水仕様ではないため、屋外に設置する際、電源部分は防水処理をしていただく必要があります。

防水処理無しでの設置はカメラの故障の原因になりますので、必ず電源ボックスや屋外用コンセントを用いて、水に触れないようにして下さい。

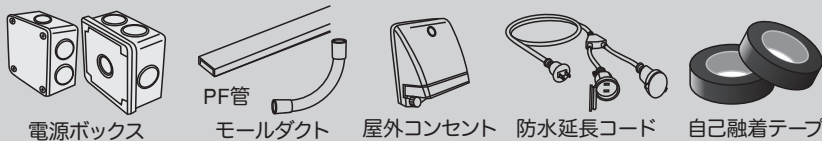


↑水が入らないよう接続部分が下にある。

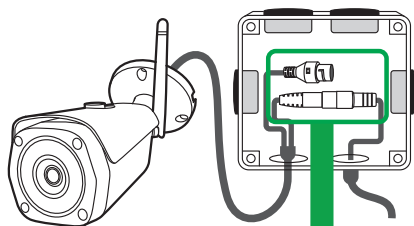


↑接続部分がカメラより上だと水が入る可能性があります。

防水処理に必要な物の一例
(全て別途お客様側でご用意下さい)

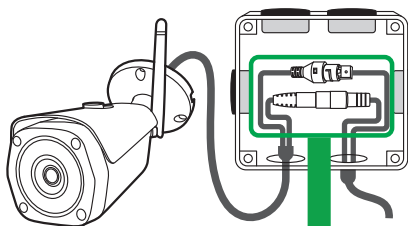


①無線カメラの場合



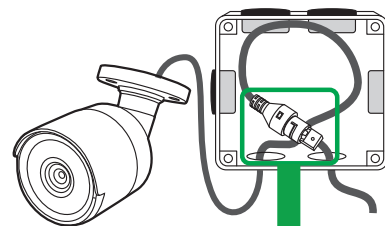
ボックス内に電源アダプターを収める場合は大きめのボックスをご用意ください。

②有線カメラの場合



ボックス内に電源アダプターを収める場合は大きめのボックスをご用意ください。

③PoEの場合

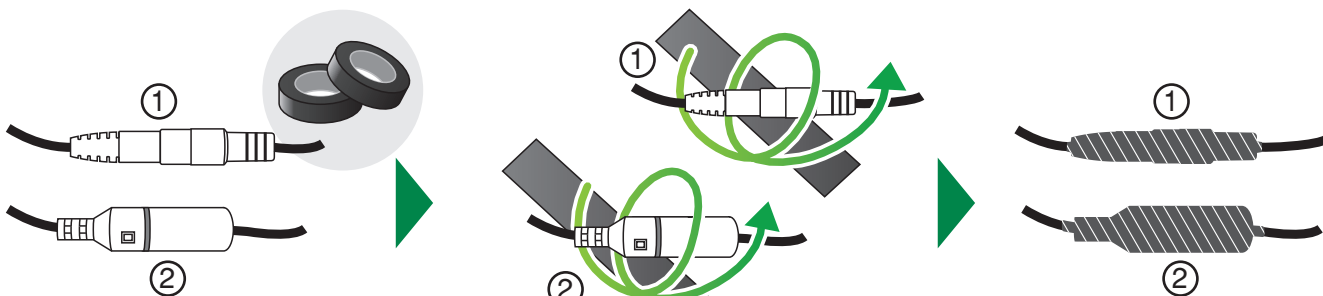


忘れずに!

ケーブルの接続部分も防水処理!

ケーブルのコネクター部分を市販の自己融着テープで接続部分を巻いて下さい。

※防水性能の無いビニールテープ等を使用すると、経年劣化により浸水・錆等が発生する恐れがあります。



① 市販の自己融着テープを用意します

② 1箇所ずつテープで巻きます

③ 防水処理完了